

テーマ：貿易統計（2012年5月）
～輸出の回復ペースは緩やか～

発表日：2012年6月20日（水）

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 首席エコノミスト 新家 義貴
TEL：03-5221-4528

| | | 貿易収支(億円) | | | | 輸出数量 | | | | | | 輸入数量 | | | |
|----|-----|----------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|------|-----|-----|
| | | 輸出金額 | | 輸入金額 | | アメリカ | | | EU | | | アジア | | | |
| | | | | | | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 | 前年比 |
| 11 | 1月 | ▲4972 | 2983 | 1.4 | 12.5 | 2.8 | 14.4 | 13.4 | ▲1.8 | 11.2 | 5.9 | 7.0 | 13.6 | | |
| | 2月 | 6370 | 4025 | 9.0 | 10.3 | 9.8 | 3.4 | 21.5 | 11.0 | 4.9 | 10.8 | 10.2 | 4.0 | | |
| | 3月 | 1709 | ▲1073 | ▲2.4 | 12.2 | ▲3.1 | 0.5 | 7.7 | ▲1.3 | 5.5 | 1.6 | ▲4.8 | 14.4 | | |
| | 4月 | ▲4777 | ▲6971 | ▲12.4 | 9.2 | ▲11.5 | ▲21.5 | ▲8.9 | ▲6.4 | 1.3 | 7.5 | 19.1 | 1.7 | | |
| | 5月 | ▲8607 | ▲5462 | ▲10.3 | 12.4 | ▲10.5 | ▲10.1 | ▲12.5 | ▲7.9 | 5.5 | 13.6 | 5.5 | 6.1 | | |
| | 6月 | 645 | ▲1294 | ▲1.6 | 9.9 | ▲2.6 | ▲2.5 | 1.9 | ▲2.5 | 1.7 | ▲1.3 | ▲0.8 | 5.1 | | |
| | 7月 | 697 | ▲1037 | ▲3.3 | 9.9 | ▲5.2 | ▲5.6 | 1.8 | ▲4.7 | ▲2.6 | ▲4.3 | 2.7 | 0.5 | | |
| | 8月 | ▲7775 | ▲2443 | 2.8 | 19.2 | 0.9 | 6.2 | 4.2 | ▲1.8 | 6.1 | 12.3 | 9.9 | 8.6 | | |
| | 9月 | 2888 | ▲444 | 2.3 | 12.2 | 1.4 | ▲0.4 | 3.2 | ▲2.7 | 1.0 | 3.7 | 10.4 | 0.6 | | |
| | 10月 | ▲2830 | ▲4311 | ▲3.8 | 17.9 | ▲4.0 | ▲4.7 | ▲2.0 | ▲7.2 | 6.0 | 14.3 | 9.6 | 5.0 | | |
| | 11月 | ▲6912 | ▲5411 | ▲4.5 | 11.5 | ▲4.4 | ▲3.6 | ▲11.2 | ▲9.5 | ▲1.0 | ▲3.6 | 22.9 | ▲5.5 | | |
| | 12月 | ▲2083 | ▲4852 | ▲8.0 | 8.2 | ▲6.6 | 2.3 | ▲13.1 | ▲11.1 | ▲0.7 | 6.0 | 4.3 | ▲2.5 | | |
| 12 | 1月 | ▲14815 | ▲5016 | ▲9.2 | 9.6 | ▲10.1 | 0.1 | ▲9.8 | ▲14.9 | 3.1 | 7.8 | 4.2 | 2.9 | | |
| | 2月 | 254 | ▲3258 | ▲2.7 | 9.3 | ▲3.8 | 14.8 | ▲11.4 | ▲8.0 | 3.2 | 5.2 | 11.0 | ▲0.4 | | |
| | 3月 | ▲871 | ▲6347 | 5.9 | 10.6 | 3.7 | 20.3 | ▲10.4 | ▲0.7 | 3.1 | 14.3 | 14.8 | ▲1.4 | | |
| | 4月 | ▲5220 | ▲5120 | 7.9 | 8.1 | 4.7 | 37.4 | ▲5.3 | ▲4.2 | 1.9 | 7.9 | ▲4.3 | ▲3.7 | | |
| | 5月 | ▲9073 | ▲6572 | 10.0 | 9.3 | 9.4 | 39.5 | 1.0 | 2.7 | 8.4 | 5.4 | 9.6 | 6.6 | | |

(出所)財務省「貿易統計」

○ 貿易赤字が拡大

財務省より発表された2012年5月の貿易統計では、輸出金額が前年比+10.0%、輸入金額が同+9.3%、貿易収支は▲9073億円の赤字となった。輸出はほぼ市場の事前予想（前年比+9.7%）通りだったが、輸入が事前予想（同+3.3%）を大きく上回った結果、貿易赤字額は事前予想（▲5150億円の赤字）よりも大きかった。季節調整値で見ても貿易赤字は▲6572億円の赤字であり、前月（▲5120億円の赤字）から赤字幅が拡大している。原油価格下落による貿易収支改善効果はまだ出ていない。

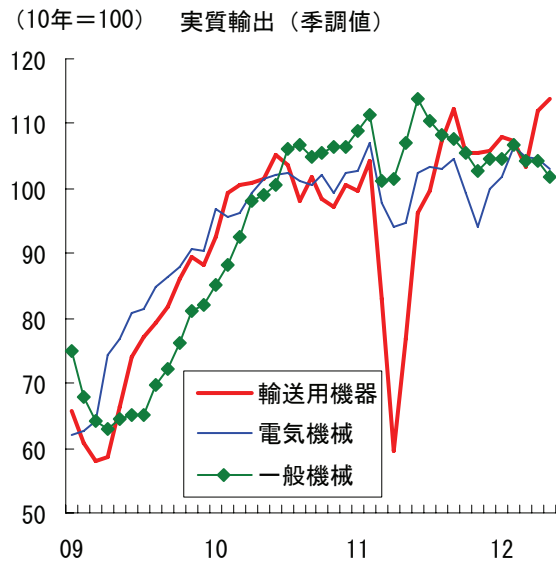
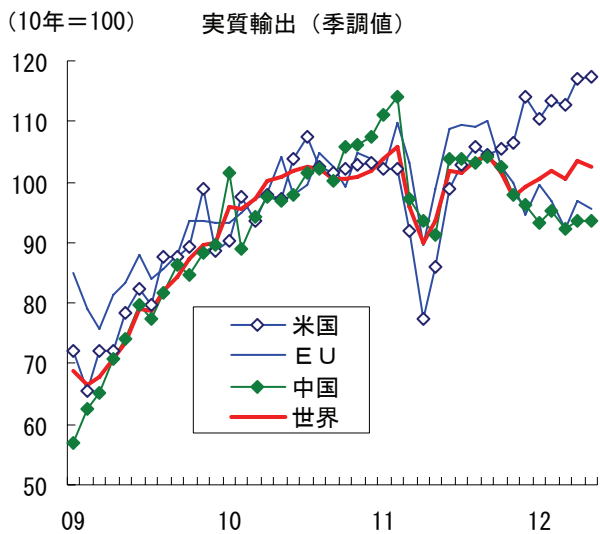
物価変動の影響を除いた実質輸出（季節調整値）は前月比▲1.1%となった（実質化と季節調整は筆者）。前月比マイナスではあるが、4月が同+3.1%と高い伸びになった反動の面が大きく、4-5月平均の値は1-3月期の水準を2.0%上回っている。1-3月期に続いて、4-6月期も輸出が前期比で増加する可能性が高まった。実質輸出は、昨年10-12月期にタイの洪水や海外経済の減速等を背景に減少した後、1-3月期にその反動もあって増加、4月以降も緩やかに持ち直している。

このように、5月の貿易統計は輸出が緩やかに回復していることを示す結果となったが、回復ペース自体は緩やかなものにとどまっている。また、中国経済の減速傾向が続いているほか、欧州景気も悪化、米国経済の回復ペースも緩やかなものにとどまるなど、海外経済の足取りも鈍い状態である。輸出が明確に増加するには、海外経済（特に中国）の持ち直しを待つ必要がある。

○ 米国向けは堅調だが、欧州向け、中国向けが低調

実質輸出を地域別にみると、好調な米国向けと、不振が続く欧州向け、中国向けという構図が続いている。米国向けは4月に前月比+3.8%増加した後、5月も同+0.3%と高水準を保った。4-5月平均の値は1-3月期を4.4%上回る。米国向け輸出は11年7-9月期が前期比+19.6%、10-12月期が同+4.1%、12年1-3月期が同+3.2%と増加が続いているが、4-6月期も高い伸びになりそうだ。財別では、特に輸送用機械の増加が目立つ。一方、EU向け輸出は5月が前月比▲1.2%、4-5月平均の1-3月期比は+0.1%だった。

4月に高い伸びだったため、4-5月を均せば横ばいとなっているが、基調は弱い。欧州経済の悪化が続いていることを踏まえると、先行きも欧州向け輸出は減少が見込まれる。また、アジア向けは前月比▲1.9%（4月：+2.1%）、4-5月平均の1-3月期比は+0.2%となった。好調なのはASEAN向けであり、4-5月平均の1-3月期比は+4.6%と高い伸びが続いている。タイの洪水による落ち込みからのリバウンドに加え、内需が好調に推移していることが押し上げ要因になっている。一方、中国向けは5月が前月比▲0.1%（4月：同+1.6%）、4-5月平均の1-3月期比は+0.1%と引き続き冴えない。足元では徐々に下げ止まりつつあるようにも見えるが、改善傾向に転じるにはもう少し時間がかかりそうだ。そのほか、NIES向けは、5月が前月比▲1.3%、4-5月平均の1-3月期比が+0.2%である。横ばい圏内の動きが続いている。その他の地域では、中東向け、ロシア向けは自動車輸出の好調を背景に増加している。



(出所) 財務省「貿易統計」

(注) 実質化と季節調整は第一生命経済研究所